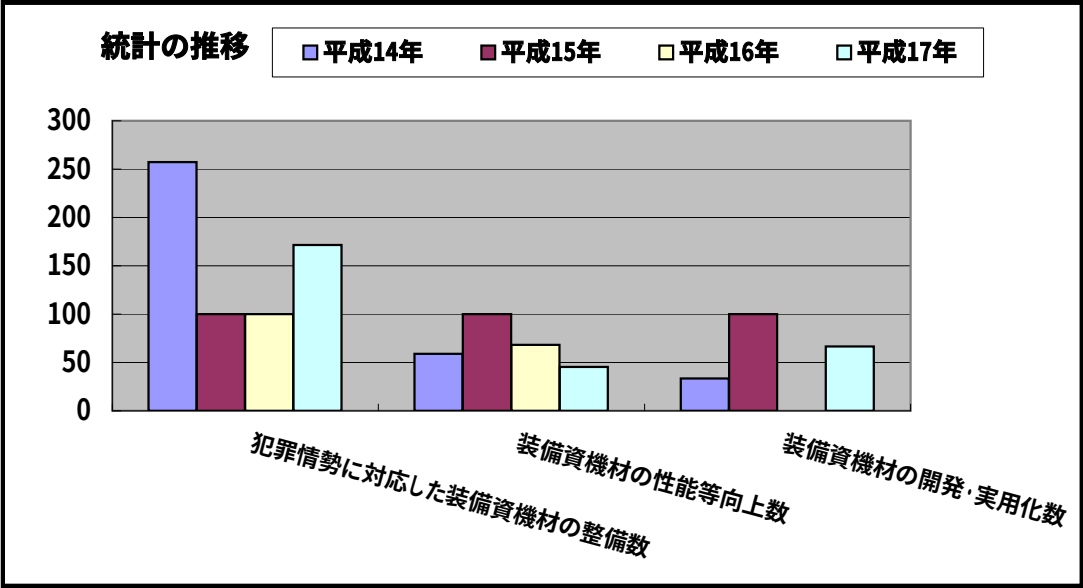
【所属】	警務課	【コード№】	53

業務名	装備資機材の整備

○業務に関係する統計

項　　目	統　　計　　の　　推　　移				
犯罪情勢に対応した装備資機材の整備数	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位
	18	7	7	12	品目
装備資機材の性能等向上数	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位
	13	22	15	10	品目
装備資機材の開発・実用化数	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位
	1	3		2	件
	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位



＜グラフは、平成15年を100とする指数で表した。＞

○業務の主なコスト

№	事　　業　　名	平成１７年度事業費（千円）	平成１８年度事業費（千円）
1	車両維持管理費	79,338	123,441
2	車両等整備・管理費	260,630	197,879
3	装備資機材購入費	4,439	5,690
4	警察装備推進費	40,219	39,965
5	装備資機材重点整備費	4,476	
6	舟艇維持管理費	19,418	8,779
7	警察職員被服等調整費	168,773	163,792
8	警務警察運営費	567	567
9	警察官増員対策事業費	23,192	20,017
合　　計		601,052	560,130

様式２　業務評価シート

○平成１７年の取組み

●街頭犯罪、侵入窃盗等が多発するなど厳しい犯罪情勢にある中、警察官の受傷事案が増加していることなどを踏まえ、第一線警察活動を支える警察装備資機材の整備・充実を図った。
＜整備内容＞
①より機能性の高い耐刃防護衣、小型多機能刺股、透明防護楯、アームガード等を整備し、精強な第一線警察の構築に寄与する受傷事故防止資機材を整備
②レスキューフォース、救命索発射銃、防護マスクなど災害活動に活用できる資機材の整備
③被害者対策用資機材、現場鑑識用資機材、暴走族取締用資機材など犯罪情勢に対応した装備資機材の整備

●装備資機材の一層の有効活用を図るため、各警察署に対し、新しい装備資機材の性能、使用方法等の教養、訓練、巡回装備品点検を実施した。

○課題と平成１８年の取組み

●変化する社会情勢、犯罪情勢への対応、精強な第一線警察の構築に重点を置き、
①より高度な機能性を持った耐刃防護衣等の受傷事案防止資機材の整備
②現場鑑識用資機材、ストーカー事犯捜査用資機材、交通捜査用資機材など犯罪情勢に的確に対応した装備資機材の整備
③精強な第一線警察を構築するため有効な装備資機材の整備
等を図るとともに、現場の要望を生かした新たな装備資機材の開発・改善に努める。